

## 市政も議会も抜本的な改革を！ (臨時議会報告)

北川原公園内ごみ搬入路の裁判の違法判決を受け、市が大坪市長個人への約2億5千万円(整備費用)を請求する権利を放棄することを審議する臨時議会が開かれました。

日野市に損害を与えたものではないこと、また原告団の代表の方々より、合意書にある内容こそが住民訴訟の目的であるとお聞きしていたことから、日野ネットは市長の責任の取り方が議案として明示される(年収相当減額)までは態度保留としたものの、最終日には全議員が賛成し、可決されました。(2022年10月28日)

日野市の体制全般の甘さと同時に、議会の監視や調査が十分でなかったことを真摯に反省し、市も市議会も共に抜本的な改革をすすめるべく、取り組んでまいります。



詳しくはこちらをご覧ください



北川原公園内の道路は、搬入車が通らないときは公園として利用されていると市は主張したものの、都市計画を変更しなかったことが違法とされました。



子どもたちも「ようちえんがなくなりそうです」と署名活動に参加。中高生も署名していました。

## 4月より「パートナーシップ制度」が はじまります

現在、法的な婚姻は異性間でのみ認められていますが、同性婚を認めないのは憲法違反であるという訴訟が各地で展開されています。判決も様々です。そのような状況下、二人の関係性を婚姻相当と公的に認める「パートナーシップ制度」を導入する自治体が増えています。東京都でも2022年11月より導入されています。

日野市では2020年に市民から導入を求める請願が出され、採択されたことを機に検討をすすめてきました。制度導入に伴い、「男女平等基本条例」が「すべての人の性別等が尊重され多様な生き方を認め合う条例」と改正されました。長い名称なので通称として「ジェンダー平等条例」と提案しました。誰もがありのまま、自分らしく生きることを互いに認め合うまちを実現していきましょう！

## 市立第四幼稚園をなくさないで！(市民からの請願)

私立幼稚園の補完的役割として設置されてきた公立幼稚園は市内には7つありましたが、園児の減少に伴い、現在は3園に縮小されています。その中の第四幼稚園の閉園計画が発表されたことを受け、保護者等が見直しを求め、4000筆を超える署名を集め請願しました。

このエリアは他に幼稚園がなく、私立に入園できなかった子どもの受け皿になっているという切実な声もあります。また小学校のすぐ隣にあり幼小連携ができている、多様な子どもたちがともに育つインクルーシブ教育が実践できていると



いいです。単に閉園にするだけでない、第三の道もあるのではないでしょうか。12月議会では「継続審議」となりました。